

# 鳥取県日南町視察

## 事務所 調査報告

### 民生文教常任委員会

平成27年5月14日(月)～15日(火)

#### 日南町役場

#### 視察目的

- ① 若者定住対策について
- ② 地域包括ケア体制について
- ③ まちづくり協議会について



町健康福祉センターにて

#### 報告

#### 若者定住対策について

町の面積の約90%が森林であり、農林業研修制度や地域おこし協力隊を取り入れ、この6年間に200人が県外から移り住んでいる。

移住定住のポイントは、空き家等を活用した住居の確保・旧小学校の校舎を利用し地場産業を振興する雇用創出の場・子育て支援体制が整っており、若者の人材の定着、さらには後継者育成につながっている。また、移住者が地域のリーダー的存在として、誇りを持って生活している。

#### 地域包括ケア体制について

町の人口は5200人と過疎化に加え高齢化率が45%以上と進んでいる。日南病院を「核」とし、町健康福祉センターが隣接されている。



センターでは毎週一回、病院医師・町福祉会・町保健福祉課スタッフ約30名による「在宅支援会議」を開催。要援護高齢者の情報交換等を年52回開催し高齢者支援のための「顔の見える化」を実践している。「家庭は病院のベッド、道路は病院の廊下、町は大きなホスピタル」という共通理念が、「町民みんなで支えあって暮らせる町」として高齢者の生きがい

を大切に在宅支援のサポートをきめ細やかにしている。



在宅支援会議のようす

#### まちづくり協議会について

まちづくり協議会について少子高齢化の進行と共に自治会機能が低下し課題が増加。「あらたな自治組織」として旧中学校区を活動範囲として7つの「まちづくり協議会」を設立。学校跡地を拠点とし「地域振興センター」として設置。専任町職員を1名配置するなど、地域の活力を集中、住民が主体的に問題を解決している。

多里地区では、センターをNPO法人化し、「地域支え愛部」や「企画部」「じげおこし部」など地域の問題に沿った仕組みを独自に作りあげ、問題があるごとに組織再編をしながら運営している。野菜の出荷で自己収入を活動資金に充てる、デマンドバス、福祉有償送を運行、センター長自らが運送し高齢者の足の確保を担うなど驚くべき取組が数多くあった。

また、近年は移住定住政策にも連携しUターン、Iターン者を積極的に取り入れている。

